

輸出商社からみた加工食品輸出について

2024年12月

マーケティング
食のカンパニー

国分東北株式会社
執行役員 山田 直喜

1. 国分グループの輸出事業

2. 輸出する際の取引形態

3. 輸出する際のプロセス

4. 輸出する際の留意点

5. 海外における日本産品の強み

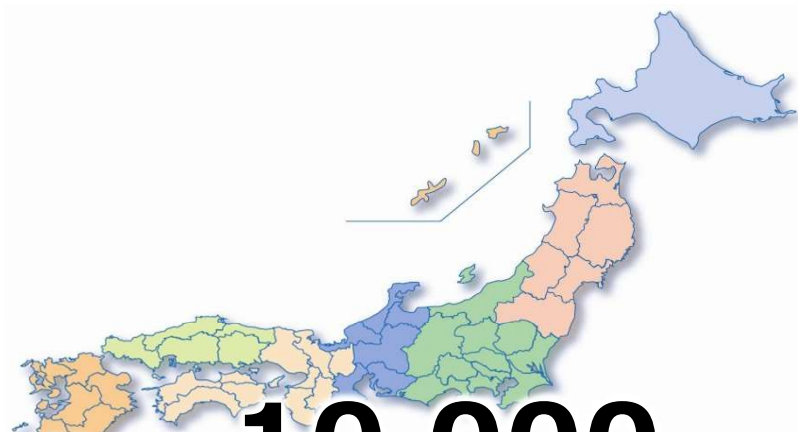
6. 東北エリアの取り組み事例

1.国分グループの輸出事業



会社概要

名称	国分グループ本社株式会社（KOKUBU GROUP CORP.）
所在地	東京都中央区日本橋1-1-1
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 國分勘兵衛
資本金	35億円
事業内容	酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及び流通加工、配送業務、貿易業、不動産賃貸借業 ほか
売上高	1,933,073百万円（連結:2022年12月期）
従業員数	5,059名（連結:2021年12月31日現在）
設立	1947（昭和22）年11月21日 （創業 1712年）



35,000を超えるお得意先様に対し、

全国卸機能を発揮して、ニーズに合致し

「商品」「情報」「サービス」を提供しています。

仕入先数： 約**10,000**仕入先

取扱い商品数： 約**60**万 アイテム

1.国分グループの輸出事業

【歴史】

- 1712年 創業 醤油醸造業
- 1859年 8代勘兵衛、製茶貿易に乗り出す
- 1880年 醤油醸造業を廃止し、広く食品販売を業とする問屋として発足
- 1915年 輸出入部を創設 移民向けに醤油や味噌などの輸出を開始
- 1930年代 本格的な缶詰輸出に乗り出す
- 1970年代 米国でスシブーム
- 1985年 プラザ合意による円高 そして日本はバブルへと
- 1980年代 缶詰中心から日本食品全般へと輸出商品ラインナップを拡充
- 1990年代 香港・中国でねりわさびが空前の大ヒット
- 2011年 東日本大震災
- 2020年 新型コロナウイルス
- 現在 61ヶ国へ約1,000メーカーの商品を輸出

1.国分グループの輸出事業

【輸出先国数】



国分グループは、世界**61**ヶ国に日本の食品・酒類を輸出

得意先数は約**170**社、メーカー数は約**1000**社

1.国分グループの輸出事業

【国分の輸出先 国別トップ10】

順位	国名	ランキング (日本全体※)	順位	国名	ランキング (日本全体※)
1	韓国	5	6	台湾	4
2	香港	2	7	フィリピン	10
3	ニュージーランド		8	イギリス	
4	アメリカ	3	9	シンガポール	7
5	オーストラリア	9	10	中国	1

販売先（約170社）

	構成比
直接輸出	80%
三国間	2%
間接輸出	18%

仕入先（約1,000社）

	構成比
食品	96%
酒類	4%

1. 国分グループの輸出事業

【中国事業会社 拠点一覧】



華北地区：5拠点

- ・ 北京必愛喜食品（本社）
- ・ 北京百源和（一番食品子会社）
- ・ 一番食品大連（営業所）
- ・ 北京恒孚物流（恒孚物流子会社）
- ・ 上海懿姿電子商務（ハルピン事務所）



華東地区：11拠点

- ・ 上海国分商貿（本社）
- ・ 上海峰二食品（本社）
- ・ 蘇州百人一首（峰二食品子会社）
- ・ 上海大一食品（一番食品子会社）
- ・ 一番食品青島（営業所）
- ・ 三通国分商貿（本社/青島）
- ・ 濰坊三慧物流（本社/青島）
- ・ 上海恒孚物流（本社）
- ・ 上海悦思意（本社/蘇州）
- ・ ASC Fine wines hd,ltd（本社）
- ・ 上海懿姿電子商務（本社）



華西地区：2拠点

- ・ 北京必愛喜食品成都（分公司）
- ・ 成都一番食品（一番食品子会社）



華南地区：4拠点

- ・ 深圳市一番食品（本社）
- ・ 一番食品広州（営業所）
- ・ 一番食品武漢（営業所）
- ・ 三慧物流深圳（分公司）



中国全国で営業・物流 計**22**拠点

沿岸部から内陸部まで全国販売ネットワークを確立

1.国分グループの輸出事業

【アセアン事業会社 拠点一覧】



ミャンマー、ベトナム、マレーシア、シンガポール計 9 社で事業展開。